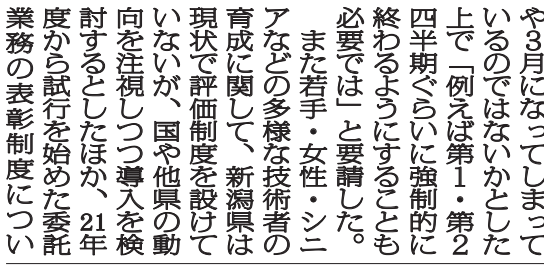


履行期限の平準化を

建設コンサルタンツ協 北陸地整ら 意見交換会開く

建設コンサルタンツ協会(建コン協)中村哲己会長と北陸地方整備局、新潟・富山・石川県、新潟市との意見交換会が17日に新潟市内で開かれた。今回は「担い手確保・育成のための環境整備」を議題に意見交換を行った。

業務の履行期限(納期)平準化の関係では、第4四半期の納期目標である35%程度に対して北陸地整の2023年度実績は69%となったが、信太啓貴企画部長は能登半島地震が発生した関係で計



5つの議題について意見を交わした

て、当面は試行を続けながら表彰制度の改善を検討していくと回答した。新潟市は委託業務関係の表彰制度がないことを伝え、今後は他都市の状況を参考に導入に向けた検討をしたいと述べた。

災害対応に向けた環境改善の関係では、建コン協が災害対応業務への適切な評価を求めたのに対し、北陸地整は災害対応・支援団体・企業への表彰制度を設けていることを説明。能登半島地震関連でも6月に表彰状贈呈式を開催したのに続き、11月にも第二弾の贈呈式を行う考えを伝えた。

自由討議において建コン協北陸支部は、現在作成中の「北陸インフラづくりの提言(案)」を紹介。30年後の北陸が目指す姿を掲げ、それを実現するためのインフラの目標像を「日本海側の国際中核圏域ほくろく」とし、31項目の提案メ

女性の活躍支援を提案

けんせつ女子ビューティーセミナー 日塗装

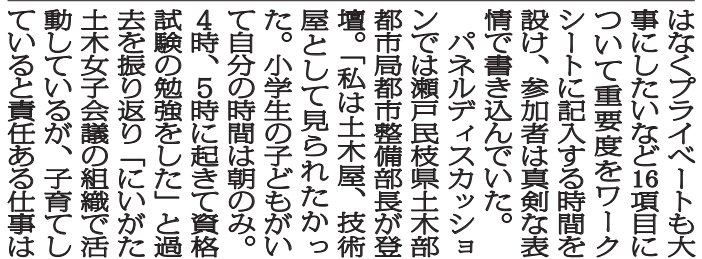
長岡造形大学で18日、日本塗装工業会(日塗装)の主催によるけんせつ女子ビューティーセミナーが開催された。女性入職希望者が少ない業界において実際に働いている女性の声を聞き、女性の活躍支援を提案する目的で企画。県外からの参加者も含む40人ほどが出席し、パネルディスカッションや講話、化粧品品の試供体験など多彩なプログラムから、建設業界で仕事を楽しく、活躍するためのヒントを学んだ。

最初にあいさつした片桐久委員長は「4年前の愛媛から始めて新潟は全国8ブロック目の開催。全国の会員会社には約7



00人の女性直用者がお持ちしてほしいと提案。子育てが終わって再就職し活躍している方もいる。今後の皆さんのキャリアにつなげればと思う」と述べた。

講話はウィウイの深田絵里コンサルタントが「女性活躍推進と自分らしいキャリアの考え方」と題し「直近ではなく少し先の在りたい姿や状態をキャリアビジョンとし



定よりも挑戦を求めて仕事したい、仕事だけでなくプライベートも大事にしたいなど16項目について重要度をワークシートに記入する時間を設け、参加者は真剣な表情で書き込んでいた。

パネルディスカッションでは瀬戸民枝県土木部都市局都市整備部長が登壇。「私は土木屋、技術屋として見られたかった。小学生の子どものがいて自分の時間は朝のみ。4時、5時に起きて資格試験の勉強をした」と過去を振り返り「にいがた土木女子会議の組織で活動しているが、子育てしながらの責任ある仕事は

は大きくプライベートも大事にしたいなど16項目について重要度をワークシートに記入する時間を設け、参加者は真剣な表情で書き込んでいた。

パネルディスカッションでは瀬戸民枝県土木部都市局都市整備部長が登壇。「私は土木屋、技術屋として見られたかった。小学生の子どものがいて自分の時間は朝のみ。4時、5時に起きて資格試験の勉強をした」と過去を振り返り「にいがた土木女子会議の組織で活動しているが、子育てしながらの責任ある仕事は

解体物件

※発注者住所 ①件名 ②工事場所 ③用途 ④施設規模 ⑤解体元請業者 ⑥工期

長岡市
■草間容器(長岡市鉢伏町256-1) ①木造倉庫解体工事②長岡市鉢伏町725-1 ③倉庫④2階建て、延べ床面積167.5㎡⑤福田砂利(長岡市西蔵王) ⑥7月22日~8月3日

■ツガミ(東京都中央区日本橋富沢町12-20) ①倉庫解体工事②長岡市西蔵王2丁目1-38 ③倉庫④平屋建て、床面積109.0㎡⑤大石組(長岡市南町) ⑥8月8日~9月30日

阿賀野市
■未来地図(千葉県流山市錦ヶ崎1-44-7) ①旧中央町職員宿舎解体工事②阿賀野市中

製造産業局長賞に 枮外付け副資材で受賞

ABC商會 エービーシー商會(東川茂樹社長、本社・東京都)が販売する枮外付け副資材「インサル」が2024年の新商品コンテスト2024(新商部部門)において経済産業省製造産業局長賞を受賞した。

「インサル」は、枮外付けする高密度ポリエチレン製の副資材。丸い枮をキューブ型に固めることで、枮周辺の石材加工であるRカットが不要で直線的なカットのみで施工できる。これにより1個当たり30分を要していた施工時間が約5分に短縮され、近年の建設業界における左官職人の高齢化やコスト、効率性重視への課題にも対応が可能となる。

日々の茶

お弁当 需要は増加しているという。円高でパンやパスタなどが値上がりしている中で、相対的にコメの価格が安定していたに現場の近くを走る外国人観光客が増え、和食を楽しむために、コメの消費が増えているという。さらに、コメ当を食べていた。まさに不足に対する恐れから「下力弁」という印象がネットの定期便で追い打ちをかけている。今回のコメ不足は、在庫不足で配送が滞り、気候変動、消費者行動、そして世界的な観光業の動向が重なった複合的な問題。食卓の主役であるコメが再び脚光を浴びる一方で、普段当たり前の食料をどう手に入れるか、食生活が今後どう変わるのかを考えさせられた。

9月に入り一部コメの収穫も始まり、間も続いた影響で、通常の年よりもコメの収穫量が減少した。ただコメ不足は猛暑だけではなく複雑な要因が絡んでいるという。近年はパンや麺類が人気でコメの消費は減少傾向に

IT導入補助金 随時申請受付中!

申請から約1か月で導入可能!

建設業向けITツールを導入して業務を効率化しませんか?

補助率1/2 ~ 4/5 補助額最大450万円

※申請枠によって異なります

特定行政書士が申請をサポートいたします! 詳しくはお問合せください

セキド新潟県央 運営会社: 株式会社プログレス 新潟県三条市桜木町12-38 三条ものづくり学校204号室

TEL: 0256-47-1942 Mail: contact_ngk@sekidopartners.com